

演 題： 鶏の体腔内腫瘍

機 関 名： 千葉県東総食肉衛生検査所

氏 名：吉野 学

動 物 名： 鶏

品 種： 肉用鶏

性別： 雌

日 齢： 71 日 齢

発生状況：平成 25 年 4 月 1 日に管内大規模食鳥処理場で処理された鶏のうちの 1 羽で、同一農場から搬入された鶏は 852 羽であった。

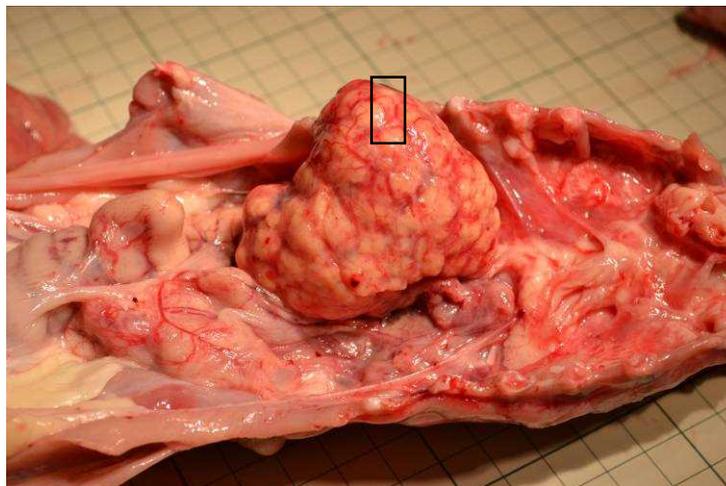
生体所見：特に異常を認めなかった。

内臓所見：体腔内の心臓、肝臓、腎臓の間隙に直径 6～7cm 大の弾性硬の黄色腫瘍を認めた。腫瘍は一部が体腔内背側の腎臓付近の体壁に付着しており、表面は凹凸があり、多数の微細な血管が発達していた。断面は充実性で黄色を呈していた。卵管は同一日齢の鶏のものに比べ、腫大し発達していた。

組織所見：腫瘍細胞は胞巣状、島状に増殖し、間隙を好銀線維が取り囲んでいた。腫瘍細胞の核は淡明で類円形～楕円形、核に溝のあるコーヒー豆様の形態をし、細胞質は比較的狭い。また、中心部にエオジンに淡染し、PAS 反応陽性物質を認める大～小卵胞様の構造を認めた。免疫染色で腫瘍細胞は抗ビメンチン抗体 (Vim3B4:Dako) に陽性、抗サイトケラチン抗体 (AE1/AE3:Dako) に陰性を示した。

固定方法：20%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位：



行政処分：全部廃棄 ・ 一部廃棄
(全身性の腫瘍)

組織診断名：顆粒膜細胞腫

疾病診断名：顆粒膜細胞腫